

Alert 26号

[通巻 408 号]

2018年
8月7日発行

第2期・反天皇制運動連絡会

反天日誌 * 17
野次馬日誌 * 11
野次馬日誌 * 17
集会情報 * 17
集会の真相 * 14
学習会報告 * 17

太田昌国のみたび夢は夜ひらく (99)
●オウム真理教幹部三人の一斉処刑について——太田昌国 * 9
マスコミじかけの天皇制 (25)
●「元号」・オリンピック・オウム大量死刑執行と「平成代替わり」の政治
——(壊憲天皇明仁) その23 天野恵一 * 10

状況批評 ●朝鮮半島情勢をどのように見るか
——東アジアの平和と非核化への好機——湯浅一郎 * 4
ネットワーク ●連続講座「安倍改憲と憲法9条」で共に議論を!——白川真澄 * 7
●米軍・自衛隊参加の総合防災訓練に反対しよう!——藤田五郎 * 8



250円

101歳の日高六郎さんが亡くなったと連絡を受けた時、98歳で亡くなった、まだそれから1年もたっていないはずの福富節男さんのことも想い出した。私は日高さんと日常的に親しく交流したことはまったくなかった。1987年、沖縄読谷村の国体ソフトボール会場で「日の丸」を燃やして抗議した知花昌一さんの救援会づくりのための最初の大きな集まり（私はこの救援会活動には結果的に長くコミットし続けることになったのだが）、この東京での集まりに、突然参加した彼が、右翼の「世代を結ぶ平和の像」破壊抗議の内容も織り込んだ活動を、と強く提案していた。この時がナマの日高さんにはじめて会った時であったはずだ。

親しく個人的に話を持ったのは2回だけ。1回は、社会党が九条平和主義から大きく後退し政権に近づいていく時代に、岩波書店の『世界』にうまれた、その流れに乗った「平和基本法」構想なるものに批判の講演会に来て話していただいた時（1993年）であり、もう一度は、私が長く参加している「戦後研究会」のメンバーとついた日高さんの話を聞く集まりの時である。フランスに住んでいた日高さんとの仲介役は、2度とも福富さんだったのである。その時の福富さんは仲介役を超えて、すこぶる積極的に動きまわった。シャシャリ出ることの少ない福富さんの普段にはおめにかかれないので、福富さんが最も敬愛する人物であろうことをよく示していた。当時、それが私には少し意外であった。

今年（2018年）は、学生叛乱のピーク（1968年）から50年である。日高さんの発言で、一番強く私の心に残っているのは、1969年1月の東大への機動隊導入の時辞職を決意した彼と、「わが解体」のプロセスを公表しつつ京大を辞職した高橋和巳との1970年（『群像』10月号）の対談（「解体と創造」）であり、その中でも言及されている『朝日ジャーナル』（1970年8月9日・16日合併号）に書かれた「断章・私と大学」である。今、それを読みなおしてみて、他者攻撃性を削ぎ落とした、見事なまでに論理的かつ具体的、明快な自己断罪の主張の力にまた圧倒された。考えてみれば、不当解雇された教員として日大全共闘への加担を持続した福富さんの日高さんへの敬愛の深さは、まったくあたりまえの話であったのだ。

（天野恵一）

●定期購読をお願いします（送料共年間4000円）

●郵便振替 00140-4-131988 落合ボックス

東京都千代田区神田淡路町1-21-7 静和ビル2A 淡路町事務所気付 落合ボックス
TEL/FAX 03-3254-5460 URL <http://hanten-2.blogspot.jp/> mail: hanten@ten-no.net

●最新情報はこちら▶ <http://www.ten-no.net/>

今月の

Alert

「生産性」が国家によって篡奪された状況を はねかえすために



安倍晋三じきじきの抜擢により稻田朋美に続くかたちで衆議院議員の席を得た杉田水脈は、「(LGBTの)彼ら彼女らは子供を作らない、つまり『生産性』がない」「そこに税金を投入することが果たしていいのかどうか」などと、優生思想を露骨に表現している文章を「新潮45」八月号に掲載した。杉田はこれまで、日本軍性奴隸制」「慰安婦」問題をはじめとして、なでしこアクションや在特会などの極右排外主義グループと行動を一つにして、差別発言を繰り返してきている。杉田は「日本維新の会」や「次世代の党」「日本のこころ」など政党を転々とさせながら、こうした思想を国会やテレビ、インターネット上で繰り広げてきたことを安倍に評価され、いわば安倍ら極右勢力の思想の宣伝担当としての役割を担つてきただ。杉田は、女性差別はない」とし、「日本文化と伝統」なるものを強調しつつ、ジンダーフリーへの悪罵を通じて男女平等という基本的人権の根幹までも否定する発言を重ねてきており、今回のLGBTに向かはれた否定もまたこれららの発言と同様で、それは日本会議系の連中とも共通する「貫したものだ。これに対し、今まで安倍自身やその周辺、自民党議員らがどれほど悪質な行動や発言を重ねても「閣議決定」などで問題なしとしてきた自民党が、驚いたことにウェブサイトで「本人には今後、十分に注意するよう指導した」としている。もちろんこれは安倍の総裁三選が確定する

まで、他にも多数存在し愚かで攻撃的な言動を重ねる「安倍チルドレン」、すなわち安倍の思想的子どもたちの「口」を一時的に封じるために弥縫策にすぎないのは明らかだが。「国家にとって利用価値があるかどうか」というおぞましい「基準」で優生保護法に基づく「断種」までもがなされてきた、日本国家の伏せられてきた暗部が、このかん明るみに出されている。嘗々とした努力で積み重ねられてきたはずの基本的人権の確立が、実際には大きく損なわれ揺らいでいるということが、このような右派勢力の動きからくつきりと見える。

そしてそれを肯定する底流は、典型的な極右にのみ限られたことではない。東京医大の入学試験において、女性の受験者の得点が一律に削られ、男女の入学者の比率が操作されてきたという事実が明らかになつたが、ネット上の情報を見ていくと、それは以前から他の学校でもあつたこと、といふものが多数あり、そのことは「意外なこと」とは感じられていない。そして、自身のこれまでの記憶をふりかえつても、これららは、もちろん否定しながらも「ありそなこと」として、無意識のうちに脱色されているようを感じる。

じつは、子どもを作つたり育てたりすることは、医大、医者ばかりではなく産業界、さらに社会の広い範囲において否定され続けているわけだ。そして、多くの女性にとっては職業や未来も奪奪されてきていくわけ

だ。子どもを作らないことが否定され、子育てによる休暇すらもマイナスとして否定される、老齢や障がいなどで「利用価値」が認められることから、わたし(たち)自身が、この問題から剥脱されねばならない。そしてもちろん天皇制は、危ういながらに類する連中らによつて、まさに、生や存在のものも否定されるというのがこの社会の行き着くところとなつていて。さらに、ひとの生を「生産性」などという概念を通じて認識することから、わたし(たち)自身が、この問題から剥脱されねばならない。

「男子相続」の血統主義に基づいており、来年には大がかりな代替わりの儀式がなされる予定で、その「皇位繼承式典事務局」も発足している。明仁と美智子は、その最後の「巡幸」を、明治政府が最初にその「領土」とした北海道とした。そして、今年の「全國戦没者追悼式」も、明仁の天皇として最後のものとなる。しかし、こうした差別の構造、いま眼前にある冷え冷えとした現実に向き合うとき、天皇および天皇制による「慰撫」「慰靈」「追悼」など、なんの意味も持たないことはあまりにも明らかだ。

今年も私たちは8・15行動を「明治一五〇年」天皇制と近代植民地主義を考える8・15行動」として取り組むが、その行動は、より積極的に、奪われ続けている存在を、世界と自由を取り戻していくものとしていきたい。

(蝙蝠)

アメリカの原爆神話と情報操作

殺すな！

賭博における菊と星条旗

原爆神話①原爆は民間人の犠牲を避けるため事前に警告をして軍事基地を破壊し②あつという間に日本を降伏させた③戦争を早期に終結させた結果、予想された一〇〇万人ものアメリカ人の命、さらに多くの日本人の命も救った救世主だ④アメリカは神に託されて慈悲深い行いをした⑤原爆の放射性物質は熱と爆破に変わっているので、ほとんど影響はない。

日本人がアメリカ人と話をしていて一番面白うのは原爆のこと。いまなお米国の教育現場では「原爆神話」が教えられており、多くのアメリカ人が原爆投下は戦争を終わらせ、多くの米兵の命を救った、よいことであった、と信じている。

井上泰浩さんの表題の著作（朝日選書、二〇一八年六月）の副題は「広島」を歪めたNYタイムズ記者とハーヴィード学長、原爆神話の捏造者一人に焦点を当てて、彼らが米政府軍部といかに結託して神話を作り上げたかを解明した著作である。

最終章は神話の解体。①警告をせず無傷の都市の破壊規模を測定、②日本が降伏したのはソヴィエトの参戦の衝撃が大きかった、③百万人の米兵を救ったというのは誇張で、原爆犠牲者の数より大きくなる必要があり、米軍公式見解でも二万人、④神の名において原爆投下を正当化するのは選民意識、⑤原爆の放射能の影響は開発責任者、と公式文書が認めていた。

原爆投下は戦争犯罪。世界は核禁止へ！（核女）

これから「人を殺す」という認識が、七名もの死刑執行の命令を下した時に上川陽子法務大臣にあつたかどうかはわからない。それにしても自分の命令で七名もの命が絶たれると、前日に宴会に参加し、笑顔で写真に収まる心理は理解しがたい。

この七月六日に続き一六日には八名も執行され、オウム事件死刑確定者一二名全ての死刑が三週間という短期間で強行された。再審請求中や心

神喪失状態であれ「絶対」殺すという躊躇のなれり愕然とする。

——平成の事件は平成のうちに終える——というのが法務・検察内部での共通認識という。一三人の命が天皇の時間によって区切りをつけられ殺されたならば、その区切りにどうのような根拠と正当性があるのか。

死刑廃止が国際社会の常識となるなか、「ナチスの手口をまねる」と公然と語る大臣が居座り続けられる安倍内閣のファシズム性をここにも見ることができる。

（怒鶴）

七月一日、カジノを合法化する一八実施法が成立した。トランプの有力パートナーであるカジノ王・アーテルソンの日本進出を導くものであることは明白だ。立憲民主党の枝野が「米国カジノ業者が予金社をつくり運営し、日本人がギャンブルで損した金を米国に貢ぐ。国を売る話だ」と批判したのはもとより、白井聰が語ったこの「米国従属の自己目的化」の極みである。

一昨年の一八整備推進法の審議の過程では、共産党の議員が「賭博禁止は持統天皇のすゝねく禁止令（六八九年）に始まる。近代法としては明治天皇のときには刑法で禁止した」と天皇を持ち出して反対論を展開した。しかし、天皇が賭博に抑制的かといふと、もちろんそうではない。持統はともかく明治天皇は、居留地で英国人が経営していた根岸競馬場に足繁く通つて、条約改正で居留地でなくなつた後もギャンブル事業としての競馬の継続に尽力した（天皇賞の起源もこのところから）。

もつともその後の天皇は、競馬への関心は薄く、いわゆる「天覧競馬」が行われたのは、明仁による二〇〇五年一〇月の秋の天皇賞が最初となる（その後二年に一回目）。翌月娘の清子の結婚式を控えたこの時の勝ち馬は、ヘブンリーロマンス。ちなみに、明仁は皇太子時代の八六年にも天皇賞を観戦しているが、この時の勝ち馬はニッポーテイオー、一着はレジエンドティオーナーだった。

（必勝法は勝つまでやめない）

反天シャーナル

状況

批評

思想・状況・批評

朝鮮半島情勢をどのように見るか

——北東アジアの平和と非核化への好機——

湯浅一郎（ピースデボ共同代表）

二〇一七年、朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮）の核・ミサイル開発の飛躍的な技術的進展、軍備拡張を主張する米トランプ政権の登場が相まって、かつてなく軍事的緊張が高まっていた。日本では、北朝鮮が核・ミサイル開発を進める背景が何かという視点が全くないまま、一方的に北朝鮮を悪者扱いする風潮が社会を覆っていた。朝鮮半島が南北に分断されたままであることの意味を理解せず、朝鮮戦争は終わっておらず、停戦協定でしかなく、北朝鮮がいつ攻撃され、一方的につぶされるかもしれないという脅迫感があるという状況は無視されていたのである。

しかし韓国の大統領誕生で、ピョンチヤン（平昌）五輪への北朝鮮参加を契機にその構図から抜け出す道が動き出した。今、北東アジアの平和と非核化が大きく前進する環境が生まれている。このチャンスを活かせるかどうかは、北東アジアの平和と非核化という地域的な懸案の前進のみならず、グローバルな非核化や平和にとつても大きな意味を有している。

一、北東アジアの平和と非核化構築の基礎となる二つの首脳宣言

四月二七日、板門店において南北首脳会談が行われ、三八度線を挟んで両首脳が握手をかわした。六五年にもわたり継続した南北分断が、ようやく無くなつていくことを象徴する感動的な場面であった。朝鮮戦争を終わらせることができれば、欧州で一九九〇年頃起きた米ソ冷戦の終結が、ようやく北東アジアにおいても具体化することになる。

そして、あげられた「朝鮮半島の平和と繁栄、統一のための板門店宣言」は、冒頭で「両首脳は、朝鮮半島でこれ以上戦争ではなく、新たな平和の時代が開かれたことを八〇〇〇万のわが民族と全世界に厳粛に宣言する」と

した。朝鮮半島に生きる南北がこのように宣言したことこそ、今回の南北首脳会談の最大の成果であり、意義である。

共同宣言には、三つのことが明記された。

①南と北は南北関係の全面的で、画期的な改善と発展を遂げることで、断たれた民族の血脉をつなぎ、共同繁栄と自主統一の未来を前倒ししていく。

②南と北は朝鮮半島で先鋭な軍事的緊張状態を緩和し、戦争の危険を実質的に解消するため、共同で努力していく。

③南と北は朝鮮半島の恒久的で、強固な平和体制の構築のために積極的に協力していく。朝鮮半島で非正常的な現在の休戦状態を終息させ、しっかりととした平和体制を樹立することは、これ以上先送りできない歴史的課題である。

合意③は、「南北は、休戦協定締結六五年となる今、終戦を宣言し、休戦協定を平和協定に転換し、恒久的で強固な平和体制構築のため、南北と米国の三者、または南北と米国、中国の四者会談の開催を積極的に推進していく」とした。そして、「完全な非核化を通じて、核のない朝鮮半島を実現するという共同の目標を確認した」とする。

南北首脳会談の最大の意義は、当事者である二国が、共に暮らす朝鮮半島を戦場にさせないということ、朝鮮戦争の終結に向け共同で取り組むことに合意し、それを前提として「朝鮮半島の非核化」を共通の目標として確認したことである。

しかし、そもそも南北だけでできることには限りがある。板門店宣言の特徴の一つは、当事者である二国が、朝鮮戦争の終結や、「完全なる非核化を通じて、核のない朝鮮半島を実現する」等、二国だけではできないこ

とを共同の目標として確認し、その実現へ向け「南北で協力する」としたことであるが、米国の関与がなければ、ほとんど前進しない。

その意味で、米朝首脳会談の行方が注目され、一旦は中止ということになつたが、六月一二日、トランプ大統領と金正恩北朝鮮国務委員長は、シンガポールにおいて史上初の米朝首脳会談を行い、共同声明を発出した意義は計り知れない。声明は、両首脳が「新たな米朝関係確立と、朝鮮半島における永続的で強固な平和体制構築に関連する問題をめぐり、包括的で掘り下げた、そして真摯な意見交換」を行い、「トランプ大統領は朝鮮に安全の保証を提供することを誓約し、金正恩委員長は朝鮮半島の完全な非核化に取り組む断固とした搖るぎない決意を再確認した」とし、以下の四項目を確認した。

①双方の国民の平和と繁栄を希求する意思に基づき、新しい米朝関係を構築することを約束する。

②米朝両国は、朝鮮半島の永続的かつ安定的な平和体制の構築に共同で努力する。

③「板門店（パンムンジョン）宣言」を再確認し、北朝鮮は朝鮮半島の完全な非核化に向け努力することを約束する。

④既に身元が確認された人を含め、戦争捕虜や行方不明者の遺骨回収に努める。

北朝鮮の建国から七〇年、銃口を向けあい、共に対立してきた米朝の首脳が歴史上初めて会談し、包括的な目標に合意した意義は歴史的である。

その後の米朝協議は、朝鮮戦争の終戦宣言をめぐつて意見が合わないなど必ずしもスムーズではない。しかし、停戦協定締結六五年周年の七月二七日、朝鮮戦争時の米兵の遺骨五五柱を載せた米輸送機が北朝鮮から在韓米軍烏山（オサン）空軍基地に到着した。他に一五〇柱が保管されているが、五〇〇〇柱以上が見つかっていない。米朝共同声明の合意の一つの履行が具体的に始まつたことになり、米ホワイトハウスのサンダース報道官は、「金正恩委員長は、大統領との約束の一部を果たした」と評価した。これらの経過からは、六一二共同声明の下で米朝協議を進めていくこと

自体に赤信号がともつたわけではない。

二、流れを変えたのは韓国民衆の闘い

ここに至る経緯を振り返つておこう。二〇一七年五月一〇日、韓国に市民が選んだ文政権が登場した。直後の七月、文大統領はベルリンで演説し、包括的な「新朝鮮半島平和ビジョン」を提案する。九月、国連総会演説で文大統領は、北朝鮮の核問題の根本的解決には、「多国間主義に基づいた対話を通じて世界平和を実現しようとする国連の精神が最も切実に求められている」とした上で、「北朝鮮の平昌（ピョンチヤン）オリンピックへの参加を心から歓迎」と呼びかけた。

この時、六回目の核実験や弾道ミサイル発射が繰り返されることを念頭に、演説の中で、トランプ大統領は、金正恩を「ロケットマン」と揶揄し、「米国とその同盟国を守らなければならないときは、北朝鮮を完全に破壊する選択しかない」と述べ、安倍首相は「対話とは、北朝鮮にとって、我々を欺き、時間を稼ぐため、むしろ最良の手段だった」、北朝鮮の非核化のために「必要なのは、対話ではない。圧力」などと述べている。こうした中で、文大統領の演説は、最も本質を突き、建設的な提案であった。

そして一八年一月一日、金正恩DPRK国務委員長が、年頭演説で平昌オリンピックへの参加の意思を表明し、南北間の軍事的緊張を緩和し、朝鮮半島の平和な環境を整えようと提案する。その後、首脳特使の相互派遣を通じて、三月六日には、板門店での南北首脳会談の開催、首脳間のホットライン設置などに合意する。金正恩の米朝首脳会談の提案は、訪米した韓国特使を通じてトランプ大統領に伝えられ、トランプ大統領は三月八日受託を即答した。こうして、四月二七日の南北首脳会談、五月七、八日、中朝首脳会談、五月九日、日中韓首脳会談などを経て六月一二日の史上初の米朝首脳会談と首脳会談が続いたのである。

こう見てみると、緊張と対立の局面を対話と和解へと転換させたのは、文政権であることが分かる。そして、一七年九月の国連総会演説で、文大統領が、「戦争を経験した世界唯一の分断国家の大統領の私にとって平和

は人生の使命であり歴史的な責務です。私はロウソク革命を通して戦争と紛争の絶えない世の中に平和のメッセージを送ったわが国民を代表していきます」と述べたように、文政権は、韓国民衆の鬨いが産み出したものである。とすれば、流れを変えた原動力は、韓国民衆の鬨いにあるといつていい。これは、民衆の声が状況を動かしていくことを実証する画期的な経験である。

三、今こそ北東アジア非核兵器地帯の設立を求める世論を

朝鮮半島の非核化を含む北東アジアにおける平和と安全保障環境が大きく変わろうとしている新たな画期的な状況において、市民社会に求められることは何か。

米朝共同声明と南北板門店宣言によって、朝鮮半島の完全な非核化への努力が始まっているが、これは必然的に北東アジア非核兵器地帯の設立への新たな局面を産み出している。「朝鮮半島の完全な非核化」には二つの要素がある。第一は、北朝鮮の「完全、かつ検証可能で不可逆的な非核化（CVID）」である。第二は、米国の「核の傘」に安全保障を依存する韓国の政策も同じようにCVIDが実現された状態にすることである。韓国の「核の傘」は北朝鮮に對してのみならず、中国とロシアに對しても必要とされていた。したがって、韓国は北の核からの安全のみならず、中国とロシアの核からの安全の保障を必要とする。これを國際条約として実現するためには、朝鮮半島の南北二か国が非核兵器地帯となり、米中ロが消極的安全保証を約束して、五か国で「朝鮮半島非核兵器地帯」をつくるということになる。二つの宣言で合意したことを履行すれば、このよだな目標に向かって協議が進むことになる。

ところが、北朝鮮に対する米国による安全の保証と在韓米軍の非核化の検証は、在日米軍を含めての安全の保証と非核化の検証に発展せざるをえない。従つて五か国での「朝鮮半島非核兵器地帯」を設立する取り組みは、在日米軍の存在によって、それだけで閉じることのできない問題に直面する。現状のままであれば、北朝鮮にとつて在日米軍による核の脅威から自

由になることはできない。つまり、日本を抜きにした五か国による朝鮮半島非核兵器地帯は不十分であり不安定であり続ける。その意味で、日本政府が積極的に名乗り出で、日本を含む六か国による北東アジア非核兵器地帯の形成を提唱することが、大きな意味を持つことになる。それは、日本の核武装への懸念を払しょくすることにもなる。

日本政府を動かすためには、北東アジア非核兵器地帯の設立を訴える日本の世論を強めるという王道以外にはないであろう。これまで、ピースデボは、二〇年以上にわたり北東アジア非核兵器地帯について、スリーピースデラス・スリー構想を提案し続け、日韓の市民団体の協力、日韓国会議員との連携、日本の自治体首長への働きかけ、日本の宗教指導者への働きかけなどの取り組みを進めてきた。今こそ、その蓄積を基礎に、より大きな世論形成を進めてゆきたい。

さらに言えば、日本政府は、この機会を新しいアジア外交の起点と位置付け積極的に取り組むべきである。その際、日朝関係改善の基礎として依拠すべき第一は「日朝平壤宣言」（二〇〇二年九月一七日）である。第二は「北朝鮮及び日本国は、平壤宣言に従つて、不幸な過去および懸案事項を解決することを基礎として、関係を正常化するための措置を取る」と合意した六か国協議の九・一九声明である。政府に求められることは、現在の機会は、日本が必ず解決せねばならない北朝鮮との「戦後処理」、「従軍慰安婦」問題を初め、関係正常化への好機ととらえ、これらに真摯に対処する姿勢を示さねばならない。一九一〇年の韓国併合から始まつた植民地政策に伴う加害の歴史に関し、韓国や中国には一定の清算をしているが、北朝鮮に對しても責任の有る対処をすべきであり、その上で国交正常化をめざしてほしい。拉致問題の解決も重要な懸案の一つであるが、政府は、核ミサイル、拉致問題に限定するのではなく、より根本的、包括的な取り組みへの強い姿勢を求めたい。

連続講座 「安倍改憲と憲法9条」で共に議論を！

白川真澄（ピープルズ・プラン研究所）

この講座（主催・ピープルズ・プラン研究所、協力・反安保実行委員会）では、安倍改憲に対抗する議論をどのような切り口や地平で組み立てようとするのか。問題意識を述べたい。

東アジアの歴史的大変動のなかに憲法議論を置き直す

六月一二日の米朝首脳会談は、東アジアの平和に関わる情勢全体を大きく変える出来事になつた。一九五〇年の朝鮮戦争開始以来の米朝間の敵対関係に終止符が打たれ、朝鮮半島の非核化への交渉が始まり、米韓合同軍事演習の中止が決まつた。今後の糾余曲折が予想されるとはい、東北アジアの軍事的緊張が緩和され、東アジアに残されてきた冷戦構造をなくしていく重要な一步が踏み出されたのである。

この出来事は今後、在韓米軍の縮小・撤退の可能性から在日米軍の駐留や基地の役割、日米安保の存在の再検討といった動きにつながっていくだろう。朝鮮半島の緊張緩和の流れは、安倍による9条改憲の正当性を根底から失わせる。なぜなら、安倍は、北朝鮮の核・ミサイル開発に象徴される東アジアの軍事的緊張の高まりを、9条改憲の最大の根拠としてきたからである。

自衛隊の存在を認める反「安倍改憲」論

安倍は昨年の五月以降、9条の第1・2項を変えずに自衛隊の存在を明記した第3項を追加するという改憲案を提案してきた。いまのところ、この安倍改憲案への支持は多数になつてない。権力を私物化しウソをつく首相（森友・加計問題の元凶）が提案しているから支持できない、という理由も大きい。しかし、「護憲派に搖さぶりをかけ」（伊藤哲夫）、9条改憲反対論を分断するという邪悪な狙いは、侮れない。

問題は、この安倍改憲論に反対する人びとのなかで、自衛権や自衛隊の存在を認めてその役割を専守防衛＝個別的自衛権の行使に限定することを理由に9条改憲と日米安保の強化を言い立てるだろう。また、米国のコミットメントが後退する分

だけ、日本自身の軍事力、自衛隊を強化すべきだという世論も強まるだろう。

したがつて、憲法をめぐる議論も、東アジア情勢の大転換という新しい地平に置き直すことが求められる。九条改憲論は、中国との対決を強化し日米安保を維持しながら自衛隊の役割を強化するという立場から主張されるだろう。これに対して、九条を擁護する議論は、非武装国家の実現のリアリティを日米安保の解消と東北アジアの非核化・非軍事化のプロセスの一環として提示しなければならない。

六月二三日に開かれた「第0回」では、「憲法9条をめぐる最新議論」として「改憲的護憲」論（報告・天野恵二）、「新9条」論（同・有馬保彦）、「改憲的立憲」論（同・白川）を取り上げ、その問題点を批判すると同時に、私たちに問われている課題を論じあつた。

この講座は、偶数月の第四土曜日の13:30～17:00に、P.P研を会場にして開催される。第1回（八月二五日）は、「9条解釈の変遷の歴史」（報告・清水雅彦）、「日米安保と憲法」（報告・武藤一羊）をテーマにする。共に議論を。

米軍・自衛隊参加の総合防災訓練に反対しよう！

藤田五郎

（米軍・自衛隊参加の総合防災訓練に反対する実行委2018）

東京都総合防災訓練に反対する闘いは二〇〇〇年の「ビッグレスキュ」反対闘争から始まった。この年、石原都知事は震災時に「三人による騒擾」も想定されると自衛隊の治安出動も必要だという暴言を放った。「ビッグレスキュ」そのものもまた、自衛隊の凱旋ショー的要素が強く、石原暴言への抗議も併せて多くの人たちが反対行動に立ち上がった。それから一八年、露出こそ控えめになつたものの、自衛隊（および米軍も一部）の関与は続いているし、昨年は、小池都知事が、関東大震災における朝鮮人虐殺追悼式へのメッセージを取り止め（石原でさえ毎年送つていた）、虐殺の事実についても「諸説ある」と許しがたい答弁を行つた。さらに今年一月、東京では初めてのミサイル避難訓練が強行された。その後、南北、米朝会談の流れで当面は見合わせることになつたが、まさに防災の延長に有事があり、さらに都行政の最高責任者が、事実上レイシズムを容認し、差別と憎悪に満ちた「流言飛語」が蔓延している状況とあつて、事態は一八年前当時よりはるかに深刻になつてゐると言わざるを得ない。

この間の防災訓練反対闘争は、年ごとに変わる訓練区域（今年は中央区、港区）に併せて実行委を結成し、前段集会、都の防災部との折衝、当日朝からの監視行動、デモか情宣、報告集会を取り

組んできた。その流れのなかで自衛隊に対する見方が明らかに変わつてきたのは二〇一一年以降である。訓練会場は例年、自衛隊のブースが設けられ、さらに装甲車や偵察用バイクなどの展示、野戦用の調理車（数百人分のご飯やカレーを煮炊きできる）を使っての炊き出しが通例化しているが、特にこの年から、自衛隊が被災地でいかに活躍したかの宣伝が目立つ。また反戦・反基地運動に参加した人達からも、「災害時の自衛隊出動は認めるべき」「被災者も自衛隊に感謝している」という声すら上がるようになつた。

しかし勘違いしてはならないのは、自衛隊はそもそもレスキュー部隊ではないし、そのための専門的訓練は受けていない。そしてここが肝腎なことだが、自衛隊は「有事」の緊急出動はできても、「災害時」の緊急出動はできない。調理車も医療・トリアージも基本は、戦闘における負傷した兵士の治療や最前線での食事のためにあるのだ。近年ブースで目立つてきたのは、炊き出しなどのボランティアで動員された中・高生らに配布する自衛隊募集のパンフだ。中身は最新兵器と戦闘訓練（本来の任務）のオンラインページである。もう一つ、注目したいのは昨年のメイン会場（多摩川）の場で「百合女子大防犯・防災サポートーズ」と紹介された学生らがバケツリレーを披露。これは多くの大

学で警視庁の肝入りでつくられていふことだ。防災訓練への取り組みを通して、二〇〇五年以降毎年行われる国民保護計画に基づくテロ対策訓練への抗議・監視行動も呼びかけてきた。二〇二〇年のオリンピックに向けて頻繁に実施されるのは間違いない。有事訓練としては既にミサイル避難訓練が全国で実施された。これほど敵（北朝鮮）を明確にして、子どもたちに恐怖心を露骨に植え付けたやり方（戦時下の防空演習レベル）はかつてなかつたことだ。恐怖心は敵愾心に転化する。そこにネトウヨの差別扇動と流言飛語が加わるとどうなるかは想像するまでもない。

今年の東京都総合防災訓練は中央区浜町やお台場などを中心に展開されるが、実行委としては九月一日の墨田区横網町公園（両国駅下車）で行われる日朝協会主催の関東大震災で虐殺された朝鮮人虐殺追悼式への参加も併せて呼びかけることになつた（午前一〇時に公園結集）、当日は前年同様、虐殺を否定し碑の撤去を呼びかける極右団体「そよかぜ」が独目の追悼式を強行しようとしている。そよかぜらによる妨害・嫌がらせを許さず、小池都知事の追悼メッセージを求めてゆく。

七月二七日に行われた前段の集会（神保町区民館四〇名）では四人のパネラーが問題提起。「自衛隊は何をやつてているのか」池田五律さん、「災害のセキュリティ」首藤久美子さん、「防災からオリンピック動員」渥美昌純さん、「災害とヘイト・レイシズム」加藤直樹さんと、防災訓練反対闘争といふ個別課題を越えた拡がりを創りだす上で不可欠の提起として共有された集会となつた。九・一〇二に多くの参加を！

太田昌國の
夢は夜ひらく 99

みたび

オウム真理教幹部三人の一斉処刑について

共謀罪法施行一周年の抗議集会で講演するため、豪雨の大坂へ向かう準備をしていた七月六日朝、オウム真理教幹部の死刑執行の第一報がラジオで流れた。執行後にしか情報が流れない通常の在り方とは異なる「事前情報」であることは、ニュースの言葉遣いから分かった。その後は新幹線の車中にいたために、次々となされる死刑執行の様子が、まるで実況中継のようになされたという一部テレビ報道は現認していないが、執行に立ち会うべき検察官が早朝から拘置所内に入る姿が撮られている以上、法務省は積極的に事前情報を流したのだろう。テレビ・メディアの「効用」を思うがままに利用したその意図を見極めなければならぬ。七人の死刑が執行されたことは車中のテロップで知つた。残るオウムの死刑確定者は六人。彼らにとつては、これは「予告された殺人宣告」にひとしい作用としてはたらくだろうと思い、その残酷さに心が震えた。

七月二六日、翌日に某所で行なう講演「オウム真理教幹部一斉処刑の背景を読む」の準備をしていた時に、第二次処刑のニュースが流れた。合計一三人の処刑。すぐに思い浮かべたのは、

という形で年表を作つてみると、創設からわずか一〇年前後で、オウム真理教は「極限」にまで上り詰めたことがわかる。無神論者の私にして、宗教がもつ始原的なエネルギーのすさまじさを思うほかはなかつた。来世や浄土を信じる心が、市民社会に普遍的な「善惡の基準」に拘泥され得ないことは、理念的には、見え易い。だが、近代合理主義からすれば、神秘的なこと／常軌を逸したことへの信念を持つことが、これほどまでに短期間に、無差別殺戮を正当化する暴發に結びついたことは、心底、驚く。

修行中に異常を来した信者を水攻めにして死に至らしめ遺体を焼却した事件や、その事実を知

は管野スガひとりの、計二人の死刑が執行された史実だった。大量処刑を行なつても世論は反撃的には沸騰しない、と読んでいた安倍政権の「冷徹さ」が、際立つて透けて見えるようと思えた。無理にでも心を落ち着かせて、翌日の講演の準備を続けた。いくつかの資料に基づいて、オウムの関連年表を作つてみた。「オウム神仙の会」が設立され、松本智津夫が麻原彰晃と名乗り始めたのは一九八四年（「オウム真理教」と改称したのは一九八七年）だつたが、松本サリン事件が一九九四年、地下鉄サリン事件は一九九五年

る信者が脱会を申し出たために殺害した事件は、一九八八年秋から八九年初頭にかけてすでに起つていて、これはごく少数の幹部の裡に秘匿されていたために、長いこと外部に漏れることはなかつた。だが、出家した子どもの親たちが、高額の「お布施」や連絡の途絶に不審を抱いて、被害対策弁護団も結成された後の一九八九年八月に、東京都から宗教法人の認証を受けているなど、解明されるべきことは多々あることを、あらためて思い知る。八九年一月の坂本弁護士事件が、神奈川県警のサボタージュによつて捜査の方向が捻じ曲げられたことは今まで触れてきた。その捜査の中心人物たる吉賀光彦刑事部長（当時）がその後、愛知県警察本部長→警察大学学長→JR東海監査役という具合に、絵に描いたような「出世」と「天下り」のコースをたどつてゐることは、寒心に堪えない。安倍政権下で「功績」を挙げた官僚たちが歩む道は、いつの時代にも、敷き詰められているのだ。

その夜の講演で私は、「國家権力とたたかう」オウムが、省庁を設けて担当大臣や次官を任命して、他者を殺戮する兵器や毒ガス開発に全力を挙げたことを指して「國家ごっこ」と呼んだ。軍隊・警察を有する国家が独占している殺人の権限を自らも獲得しようとしたオウムは、悲劇的な形で「國家の真似事」を演じた。一宗教がたどつた軌跡から私たちが取り出すべきは、宗教がもち得る危険性への視点だけではない。大量処刑も含めて「國家」が行なう所業への批判も導き出すことができ

「元号」・オリンピック・オウム大量死刑執行と 『平成代替わり』の政治——〈壊憲天皇明仁〉その23

天野恵一


七月二一日は、私たち「反天連」も呼びかけ団体の一つである「元号はいらない署名運動」主催の、来年五月一日の天皇代替わりとともに終わる「平成」、これを最後に天皇による時間支配という反民主主義制度である「元号」制度を終わりにしようという呼びかけを発した「なぜ元号はいらないのか?」集会に参加。翌日二二日は、死者も出ている連日の猛暑のなか、「オリンピック災害」おことわり連絡会主催の、原宿での路上集会とデモに参加。一つでも多くの「日の丸・君が代」をというナショナリズム・イベント反対の声をあげた。「灼熱地獄の東京五輪、本当に死ぬぞ、いますぐやめろ!」のシユプレヒコールが、奇妙にリアルに響く、ハードな行動。病身のヨレヨレの体には、ひどくこたえフラフラ。

それでも七月二七日には「死刑執行に抗議する集会」に参加。前日の二六日にはオウム関係者の六名の死刑執行があり、すでに七月六日に七名が執行されていたので、再審請求中の人物を含めて、恩赦などによる死刑回避者ゼロのまま、一三名全員が死刑執行。「大逆事件」の一二人を超えるこの歴史的暴挙への怒りが、会場にあふれる集まりであつた。集会の帰りぎわ、「反天連」の集会などによく顔を見る人物から、「反天連」の声をかけられた。

『東京新聞』(七月二〇日)の夕刊の文化欄で川

村湊が「(七人死刑執行の意味)」こう論じている。「二〇二〇年の東京オリンピックを前にして、国際的・国内的なテロリズムへの対策は、まったく危うい段階だろう。過去のオウム真理教のテロに対する「失敗」(あえて失敗と呼ぶ)と、これから大量的処刑を呼び込んだと思う」。

この大量処刑が二〇二〇年東京オリンピックをにらんで実行されたことは、まちがいあるまい。もう一点、私たちは見落としてはいけない大問題がある。この大量処刑が、「平成代替わり」(アキヒト天皇「生前退位」)の政治プロセスの中におきている意味である。

かつて一九六四年東京オリンピックをトータルに批判した『にっぽん診断』(日高六郎・佐藤毅編)がある。

三一新書、一九六八年)に、以下のようないわ文章がある。「宮さん宮さんお馬の前にヒラヒラするのは何じやいな/あれは朝敵征伐せよとの/錦の御旗じや知らないか/トコトシヤレトンヤレナ」これは明治維新のころ、国民の間でうたわれた『トンヤレナ節』の一節だが、ここには、近代から現代にいたる、わが国の政治的シンボル操作の型がある。『錦の御旗』は目にみえる具体的な象徴として、『官軍』をまとめる力を生み、維新を推進

ムード」をつくり出している国策(錦の御旗)は、二〇二〇年東京オリンピックと二〇一九年「平成天皇代替わり」の二つである。このシンボルの操作の政治的必然が大量死刑執行を生み出したのである。新元号と新天皇が生まれる代替わり儀式の前に「(平成)の時間の中で」死刑は執行すべしという安倍政権らの意向については、マスコミでもチラホラ流れていた。

そして、私たちが想起すべきなのは、オウムは「何人といえども、その権威は侵してはならない」という「神聖法皇」をいただく、「オウム憲法」を持つていて、「皇居にサリンをまきかねない」反皇室団体と報じられていた事実である(正確にどうだったかは処刑によつて闇に葬られてしまつたが)。

人権憲法を持つ国家による合法的な大量殺人(死刑)は、平成天皇Xデー政治プロセスの必然的な産物だったのである。

させた原動力となつていた。いまでは明治維新と

は無関係な場所で『ニシキの御旗』という言葉が使われるようになつていて。/『オリンピックの東京開催が決まつた』『やるからには成功させよう』『そのためには——』と展開されてきた論理も、オリンピック東京大会が、一九六四年の日本で、一われたことを物語つていて。オリンピックの名を高くかかげることによつて、その目的にそつたらゆることが正当化され、その目的にそつて邪魔なものはすべてしりぞけられるようなムードを生んだのである』(傍線引用者)。

野次黒日誌

7月1日～7月31日

が開催した世界大会のレセプションに出
席。

を語る日本古文の歴史を鑑賞する定期演奏会を鑑賞。

7月1日

ア「勤労奉仕団」と懇談したり、「私の」に外出したりしたと報道。

元「慰安婦」◆元日本軍の「従軍慰安婦」だった女性らを支援する「韓国挺身隊問題対策協議会」が、元「慰安婦」のキム・ボクトウクさんが亡くなつたと明らかに。当年に入り死去した元「慰安婦」は5人目で、韓国政府が認定する存命の元「慰安婦」は27人となつたと報道。

7月2日】
絢子婚約◆故高円宮の三女絢子と日本郵
船社員の守谷慧＝東京都港区＝の婚約が
内定。これに先立ち、絢子と母入子が皇居に

御所を訪れ、美智子にあいさつ。明仁は体調不良のため同席せず、美智子が明仁

の祝意を伝える。宮内庁の加地隆治・宮務主管が同庁で記者会見し、内定を発表。絢子の活動を振り返り「数多くの公的な活動に取り組まれる中で多くの人々と親しく接し、役割を果たしてこられた」。2人の会見が同庁で開かれる。久子が「(2人は)相性がとてもいい感じます」とする感想を発表。安倍晋三首相が政府与党連絡会議で、「国民と共に心からお祝いを申し上げます」。菅義偉・官房長官が

7月1日～7月31日

〔7月4日〕

会見で、女性皇族の婚姻に伴う皇族減小への対応について「(解決の方策は)いろいろな意見があり、国民のコンセンサスを得るには十分な検討が必要だ」明仁◆宮内庁が、明仁に早朝から脳貧血によるめまいや吐き気の症状があり、午

前中に行われた故高円宮の三女絢子の姫
約内定の報告には同席しなかつたと発表
予定されている「公務」は後日に延期し
たと報道。

婦」報道に関わった植村隆が、産経新聞に掲載された「ジャーナリスト」桜井トシのコラムに誤りがあるとして、産経新聞社に訂正記事掲載を求めた東京簡易裁判所での調停が不成立に。産経新聞の訂正記事の内容に、植村が納得できなかつたと植村の代理人弁護士が明らかに。

〔7月3日〕

明仁、美智子◆宮内庁が、明仁に脳貧血によるめまいに加え、軽い腹痛の症状が出ていたため、2日に統いて当日も「公務」を延期すると発表。明仁は午前に御所で同庁総務課長による地方訪問の説明を聞く予定だったが、美智子が1人で受けける旨、皇居・宮殿で法相や検事総長らと食事を共にする「公務」が入っていたが延期し、午後の「執務」も4日以降にこなすというと報道。

が開催した世界大会のレセプションに出
席。

明仁、美智子、徳仁、秋篠宮、紀子◆宮内庁が、体調を崩していた明仁のめまいの症状などが改善傾向にあると発表。明仁が皇居・御所で静養。御所での「執務」はこなしたと報道。宮殿で催されたノルウェーやケニアなどの駐日大使夫妻との

昼食会を欠席、徳仁が代理で出席。美智子と秋篠宮 紀子が加わる。代替わり◆政府が翌年4月30日の明仁退位と翌5月1日の新天皇即位に伴う一連の儀式の準備作業を統括する事務局を8

月初旬に発足させる方針を固め、関係官僚省庁間の調整役を担うトップには事務次官級を充てると、政府関係者が明らかに。 **7月5日**

の信任状を受け取る儀式は踏み一公務員に本格的に復帰したと報道。宮殿・松の間で、セーシエルなど2カ国的新任駐日

大使からそれぞれの国の元首の信任状を受け取る。御所に前仙台高裁長官らを招き、懇談。招かれたのは、退官した河合健司・前仙台高裁長官や青沼隆之・前名古屋高検事長らと報道。

改憲◆憲法「改正」の国民投票に関する規定を公選法に合わせる国民投票法「改正」案について、衆院憲法審査会で提案理由を説明して審議入り。

〔7月6日〕

眞子婚約◆米ニューヨークのフォーダム 大ロースクールが、秋篠の長女眞子との 分かる。

婚約が内定している小室圭が同ロースクールに8月から留学すると発表。計3年間学ぶことを希望しているといい、奨学金制度を利用し、授業料は全額免除されるなど報道。

シベリア抑留◆厚生労働省が、「終戦」後に旧ソ連に抑留され、シベリア地域で死亡した13人の身元を新たに特定し、漢字氏名や出身地をホームページで公表。

死刑執行◆地下鉄、松本両サリン事件などオウム真理教による一連の事件で殺人の刑が、東京拘置所などで執行される。法務省が発表。

明仁、美智子◆西日本豪雨を受け、宮内

の河相周夫侍従長を通じ、岡山、広島、

愛媛の各県知事に「見舞い」の気持ちを

伝え、災害対策に従事する関係者へのね

ぎらいを伝えたと報道。

明仁、雅子◆宮内庁東宮職が、西日本を

中心とした豪雨の影響により、徳仁が出

席予定だった岡山県での第54回献血運動

推進全国大会が中止になったため、11月

12日の同県訪問を取りやめると発表。雅

子も体調が良ければ同行する予定だった

と報道。

明仁、美智子◆宮内庁が、明仁、美智子

が8月3～5日、北海道を訪問すると発

表。1869年に「北海道」と命名され

てから、当年で150年目の節目だとし

て、札幌市で開かれる記念式典に出席し

て、札幌市に利尻島にも足を運ぶと報道。

眞子◆ブラジルのリオデジヤネイロで日

系人らの歓迎行事に出席し、「両国の懸け

橋となってきた努力に心より敬意を表し

ます」とあいさつ。歓迎行事に先立ち、

リオデジヤネイロ植物園で日本庭園を見

学。コルコバードの丘を訪れる。

横浜市中区のニュースパーク（日本新聞博物館）で始まる。

島県を同年3月26日にスタート、日本列島をおおむね時計回りに巡り、7月24日

の開会式で東京・新国立競技場の聖火台

に点火されるルートで、聖火リレーの総日数は移動日を含め121日と報道。

島県を同年3月26日にスタート、日本列島をおおむね時計回りに巡り、7月24日

の開会式で東京・新国立競技場の聖火台

ていたが、当年で最後になるとして報道 だつた女性らの支援団体「韓国挺身隊問題対策協議会（挺対協）」が、別の団体と

組織を統合し「日本軍性奴隸制問題解決のための正義記憶連帯」との新しい名称

の新聞紙面で振り返る企画展「新聞が伝えた明治―近代日本の記録と記憶」が、

横浜市中区のニュースパーク（日本新聞

博物館）で始まる。

島県を同年3月26日にスタート、日本列島をおおむね時計回りに巡り、7月24日

の開会式で東京・新国立競技場の聖火台

に点火されるルートで、聖火リレーの総日数は移動日を含め121日と報道。

13 ●反天皇制運動 Alert

「君が代」を歌うよう指示した校長の職務命令に反したことの理由に、退職後の再雇用を拒否したのは違法として、東京都立高の元教諭22人が都に損害賠償を求めた訴訟の上告審判決で、最高裁第1小法廷（山口厚・裁判長）が、賠償を命じた二審判決を破棄し、元教諭の請求を棄却。

「再雇用の合否判断は任命権者の裁量にゆだねられている。不合格とした結論は合理性を欠いていない」。職務命令違反は、式典の秩序や雰囲気を損ない、生徒への影響も否定できない」。元教諭の逆転敗訴が確定。

朝鮮植民地支配◆南北交流を推進する韓国の民間団体「民族和解協力汎国民協議会（民和協）」が、北朝鮮側との間で、日本との植民地時代に徴用された朝鮮半島出身者の遺骨を日本から持ち帰る事業を南北共同で進めることで合意したと、訪朝していた民和協代表の金弘傑が帰途、北京国際空港で記者団に明らかに。

【7月20日】
明仁、美智子◆東京都港区のサントリー ホールで、ベトナム国立交響楽団の日本公演を鑑賞。公演終了後、出演者らと懇談。眞子◆空路でブラジルのリオデジャネイロから南部パラナ州に移動。ロンドリー ナの日系団体施設で地元の日系人らと交流。ロランジアのパラナ日本移民センターを訪問。

眞子婚約◆眞子と婚約が内定している小室圭が8月から留学する米国ニューヨークのホームページに掲載した小室の入学を

紹介する記事の中から「フィアンセ（婚約者）」の文字を削除したと報道。

【7月22日】
愛子◆英国ロンドン郊外にある名門私立代替わり◆立憲民主党が、将来的皇室の在り方を検討する「安定的な皇位継承を考える会」（会長・海江田万里・元経済産業相）の初会合を国会内で開く。課題となる皇族減少対策などについて年内にも論点を取りまとめ、党として一定の方向性を打ち出すことを確認。

侍従◆侍従の西野博之を総務省大臣官房企画官に、一般財團法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構研究主幹の岩井一郎を侍従に起用する宮内庁人事が発表される。

東京五輪入場券◆2020年東京五輪・パラリンピック組織委員会が、五輪の入場券価格の概要を公表。開会式は1万2千円～30万円、競技はサッカーなどで最も安い2500円から、陸上競技で最も高い13万円。IR法◆カジノを含む統合型リゾート施設（IR）整備法が成立。

【7月21日】
明仁、美智子、徳仁、雅子、愛子◆皇太子一家が、愛子の英国短期留学を前に、眞子に空路で皇居・宮中三殿を单独で参拝。

眞子◆ブラジルのサンパウロ州カフエランジアで、約100年前に日本の移民らが集団で開拓した「平野植民地」を皇室として初めて訪問。マラリアで死亡した御所を訪問。これに先立ち愛子が、歴代犠牲者の碑に献花。サンパウロ大の動物学博物館を視察。北部アマゾナス州マナウスに空路で移動。パラ州トメアスなどを訪れる。

【7月23日】
眞子◆ブランジアのサンパウロ州プロミッソンを訪問。

【7月24日】
眞子◆ブラジルのサンパウロ州カフエランジアのサンパウロ州カフエランジアで、約100年前に日本の移民らが集団で開拓した「平野植民地」を皇室として初めて訪問。マラリアで死亡した御所を訪問。これに先立ち愛子が、歴代犠牲者の碑に献花。サンパウロ大の動物学博物館を視察。北部アマゾナス州マナウスに空路で移動。パラ州トメアスなどを訪れる。

【7月25日】
眞子、美智子◆西日本豪雨で大きな被害が出た愛媛県の中村時広知事を皇居・御所に招き、被害状況について説明を受けた。中村知事が終了後、報道陣の取材に応じ、2人から「暑さに負けずにがんばってください」と励まされたと明かす。東京都港区の国立新美術館で開催中の書道展を鑑賞。

【7月26日】
眞子◆静岡県御殿場市で開かれた全日本高校馬術競技大会の開会式に出席し、冒頭のあいさつで西日本豪雨に触れ「被災地の復旧が速やかに進むことを願つております」。

秋篠宮◆西日本豪雨で甚大な被害を受けた広島県を「私的」に訪問。宮内庁幹部によると、被災者を受け入れている同県坂町の病院を視察。近くの避難所で、医師による健康相談の様子を見て回る。

して、殺人罪などに問われ、死刑が確定した教団元幹部ら6人の刑が執行される。法務省が発表。上川陽子法相が2日前の24日に命じたもので、教団による事件で死刑が確定した13人全員の執行が終わつたと報道。

カ月半前、当時の竹下登首官房長官（いずれも故人）が終候補として「平成」を含て報告されていたことが分

大会の総合開会式出席などのため、JR 東京駅を出発、三重県県入り。伊勢市にある伊勢神宮の外宮と内宮を参拝。雅子は同行しなかつたと報道。

広島市役所で記者会見を開き、2008年に確認された在北朝鮮被爆者382人がうち、1割超に当たる少なくとも51人が死亡していたと明らかに。現地の被爆者団体が調査し、中間報告を7月中旬に聞き取ったもので、会見に同席した広島県朝鮮人被爆者協議会の金鎮湖・理事長によると、「在朝被爆者は年々減少している。朝日新聞によれば、現在停滞しているが、人道的な支援をしてほしい。」

【7月27日】
日韓関係◆河野太郎外相が記者会見で、日本と韓国の未来志向の関係を目指すとした「日韓共同宣言」の発表から10月で20年を迎えるのを踏まえ、日韓間の文化、人的交流の拡大に向けた方策を議論する有識者会合を設置すると正式発表。会合設置には、歴史認識を巡る対立に焦点が当たるのを避け、関係改善を後押しする狙い。
東宮侍従◆東宮退官する宮

沖縄県や北海道函館市から
至る60人の「豆記者」たちを、
ある東宮御所に招き、懇談。
悠仁◆東京都千代田区に
史料館「しようけい館」を
戦争などの戦傷病者ゆかりの
悠仁の夏休みに伴う「私的」

侯病の公式確認から63年となる翌年5月1日に予定していた犠牲者慰靈式を、同月19日に延期することを決める。新天皇の即位日と重なるためで、翌年は春に統一地方選があるほか、夏の酷暑を避けるため、秋に行うことになったと報道。

東宮侍従◆国土交通省都市局総務課国際
室長の石川亨を東宮侍従に起用する宮内
庁人事が発表される。

漢文の「思想」

女性と天皇制研究会学習会 天皇制から続く家制度

女性と天皇制研究会学習会
天皇制から続く家制度
七月二日、文京区民センター。五月

示した上川法相が処刑前日に飲み会（「赤坂自民亭」）で盛り上がっていたことを指摘された。以下、当日レジュメに沿つて述べる。

一、天皇と「家」制度：「家」制度は十一世紀、白河天皇が自分の子どもに皇位を継がせようとしたところから始まつた（五味文彦「中世社会のはじまり」岩

「日本型福祉税制などの抜粋
撤廃条約。七
女平等を絶対
法案に。八、
のモデル世帯
どうなる天皇
会場からは

束。家の女性が介護を担う会」の提唱。六、女子差別男女雇用機会均等法：男に認めない経営側、骨抜き日本は単身社会へ：厚労省はもはや幻。九、皇族は減少、現実とモデルの乖離が進み。

俊直が委員に）が興味深く、その後の施策や規範意識の形成がこのとおりに進んでいることに恐ろしさを覚えた。裕仁といい明仁といい、家存続に必死のあまり、土地や人を外国の軍隊に売り渡したり、法律を捻じ曲げたり何でもするわけで、そういう意味ではまさに、「天皇制から続く家制度」だなあと思った。

死刑執行◆地下鉄、松本両サリン事件などオウム真理教による事件に関わったと

【7月28日】
「平成」◆1989年1月7日の昭和天
徳仁、雅子◆
【7月31日】

徳仁が、全国高校総合体育

一七日の学習会「眞子^{アキ}結婚^{マリッジ}延期と憲法^{コン�}四条^{シキジ}なぜスキャンダルになるのか」(Alert^{アラート}四号参照)の続編。発題は近藤和子さん。

波文庫^{ボウモン}。二、戦後の「家^{カミ}」制度廃止の試み(GHQ主導)、二〇一〇年日本会議夫婦別姓反対運動方針。三、美智子皇后^{ミチコ}：身世帯が増え戦後日本の核家族のモデル(アメリカと次産業はいま

規範のようなものはむしろではないか、都會では單てあるかもしれないが第一に家族經營でないと成り

近藤さんは冒頭、七月六日の七人一斉死刑執行に触れ、それが大逆事件（二二人）以来の大量死刑であることと、それを指のつながり）。四、雅子妃・均等法のモデル？五、一九八〇年大平内閣「家庭基盤の充実」政策と、それによく配偶者優遇（若き日の原

七月二一日、文京区民センターにおいて、「なぜ元号はいろいろのか？」7・21集会」が九七人の参加を得てもたれた。的には「家庭基盤の充実」

主催は、このかん、天皇「代替わり」に反対する行動を共同でつくっている首都圏のグループによって作られた「元号はいらない署名運動」。もちろん反天連も呼びかけ団体のひとつだ。

天皇の「二重権威」などというくだらない議論もからんだ「新元号」への移行をめぐるドタバタは、元号というものの不便・不合理さをあぶりだしている。同時に、にも関わらず、それをやめようという声を表面化させることのない、天皇制社会のありようを。そうしたなかで取り組まれた署名は、すでに目標数の五〇〇〇筆を超えていた。その報告も含め、元号いらないという声をはつきりと上げていこうという趣旨の集会だた。主催者あいさつに続いて、中国近代思想史を専門とする坂元ひろ子さん（一橋大学名誉教授）から「中国の革命経験から考えるアジアの共和国」と題して講演を受けた。坂元さんは、「心身に絡みつくように私たちを縛っている」（安丸良夫）天皇制を問題にすべきであると話を始めた。「元号制度」は、それが中国古典に典拠を持つ言葉で作られることに明らかなよう、古代以来の対中国コンプレックスが骨がらみになつた制度である。中国においては「天」の観念と易姓革命の思想があつたのに対して、日本においてはそのコンプレックスを解消するために、「万世」系が強調されたことを指摘した。そして、清末民初の改良・革命思想における「共和」論議について詳しく紹介された。

続いて、靖国・天皇制問題情報センター

の中川信明さんから、これまでの反元号の取り組みについての報告、前立川市議の大沢豊さんから、二三区二六市の文書における元号および西暦使用的現状、新元号のためのシステム改修の費用などについての調査報告がなされた。

茨城・戦時下的現在を考える講座、「オリンピック災害」おことわり連絡会、アジア女性資料センター、あいち代替わり・植樹祭を考える会（仮）のアピール、今後の行動提起で集会は閉じられた。

この集会については、後日朝日新聞でも記事になつた。反対する声の存在が取り上げられたのはよいとしても、署名運動について言及されず、なんのための集会なのか不明。しかも「平成流」によって、右も左も苦労し、反対運動も退潮しているという論調。そうではない。集会で中川さんも強調したように、「代替わり」は改元を目前にして、「元号反対運動の三つのピーカー」に向けた、具体的な取り組みが始まつてているのだ。秋にかけてさらに署名を集め、反元号の声をさらに広げていこう。

（反天連／北野薈）

2020東京オリンピックいらない！原宿アピール&渋谷デモ

武器輸出反対ネットワークの杉原さんは八月末に川崎で開催予定のイスラエル軍事エキスポ中止を求める取り組みへの呼びかけ、おことわりリンクの八鍬さんからもサイバークロを口実として人権破壊

のシヨーチースとして五輪を利用するイスラエルに対する批判。この日お目見えリーフレットの中面ハザードマップ製作者の大根さんから、東京自体が放射能のト谷口源太郎さん。放送権料等一兆円を超える「興行」の実態を暴露、興行を優先した真夏の開催は選手から離れた「マネーファースト」。一九二五年生まれ、一九三二年ロサンゼルス五輪をラジオで聴いた北村小夜さんは道徳や愛国心教育と結びついたオリ・パラの問題点を。東京都オリパラ教育を監視・批判する仲間からの報告も。

（おことわりリンク／京極紀子）

死刑執行に抗議する集会

鵜飼哲さんは一九五二年の「主権回復」とヘルシンキ五輪、一九六四年の東京五輪でのヒロヒトの開会宣言等をあげ、この集会にしては、後日朝日新聞でも記事になつた。反対する声の存在が取り上げられたのはよいとしても、署名運動について言及されず、なんのための集会なのか不明。しかも「平成流」によって、右も左も苦労し、反対運動も退潮しているという論調。そうではない。集会で中川さんも強調したように、「代替わり」は改元を目前にして、「元号反対運動の三つのピーカー」に向けた、具体的な取り組みが始まつてているのだ。秋にかけてさらに署名を集め、反元号の声をさらに広げていこう。

（反天連／北野薈）

武器輸出反対ネットワークの杉原さん

は八月末に川崎で開催予定のイスラエル軍事エキスポ中止を求める取り組みへの呼びかけ、おことわりリンクの八鍬さんからもサイバークロを口実として人権破壊のシヨーチースとして五輪を利用するイスラエルに対する批判。この日お目見えリーフレットの中面ハザードマップ製作者の大根さんから、東京自体が放射能のト谷口源太郎さん。放送権料等一兆円を超える「興行」の実態を暴露、興行を優先した真夏の開催は選手から離れた「マネーファースト」。一九二五年生まれ、一九三二年ロサンゼルス五輪をラジオで聴いた北村小夜さんは道徳や愛国心教育と結びついたオリ・パラの問題点を。東京都オリパラ教育を監視・批判する仲間からの報告も。

鵜飼哲さんは一九五二年の「主権回復」とヘルシンキ五輪、一九六四年の東京五輪でのヒロヒトの開会宣言等をあげ、この集会にしては、後日朝日新聞でも記事になつた。反対する声の存在が取り上げられたのはよいとしても、署名運動について言及されず、なんのための集会なのか不明。しかも「平成流」によって、右も左も苦労し、反対運動も退潮しているという論調。そうではない。集会で中川さんも強調したように、「代替わり」は改元を目前にして、「元号反対運動の三つのピーカー」に向けた、具体的な取り組みが始まつてているのだ。秋にかけてさらに署名を集め、反元号の声をさらに広げていこう。

武器輸出反対ネットワークの杉原さんは八月末に川崎で開催予定のイスラエル軍事エキspo中止を求める取り組みへの呼びかけ、おことわりリンクの八鍬さんからもサイバークロを口実として人権破壊のシヨーチースとして五輪を利用するイスラエルに対する批判。この日お目見えリーフレットの中面ハザードマップ製作者の大根さんから、東京自体が放射能のト谷口源太郎さん。放送権料等一兆円を超える「興行」の実態を暴露、興行を優先した真夏の開催は選手から離れた「マネーファースト」。一九二五年生まれ、一九三二年ロサンゼルス五輪をラジオで聴いた北村小夜さんは道徳や愛国心教育と結びついたオリ・パラの問題点を。東京都オリパラ教育を監視・批判する仲間からの報告も。

鵜飼哲さんは一九五二年の「主権回復」とヘルシンキ五輪、一九六四年の東京五輪でのヒロヒトの開会宣言等をあげ、この集会にしては、後日朝日新聞でも記事になつた。反対する声の存在が取り上げられたのはよいとしても、署名運動について言及されず、なんのための集会なのか不明。しかも「平成流」によって、右も左も苦労し、反対運動も退潮しているという論調。そうではない。集会で中川さんも強調したように、「代替わり」は改元を目前にして、「元号反対運動の三つのピーカー」に向けた、具体的な取り組みが始まつてているのだ。秋にかけてさらに署名を集め、反元号の声をさらに広げていこう。

武器輸出反対ネットワークの杉原さんは八月末に川崎で開催予定のイスラエル軍事エキspo中止を求める取り組みへの呼びかけ、おことわりリンクの八鍬さんからもサイバークロを口実として人権破壊のシヨーチースとして五輪を利用するイスラエルに対する批判。この日お目見えリーフレットの中面ハザードマップ製作者の大根さんから、東京自体が放射能のト谷口源太郎さん。放送権料等一兆円を超える「興行」の実態を暴露、興行を優先した真夏の開催は選手から離れた「マネーファースト」。一九二五年生まれ、一九三二年ロサンゼルス五輪をラジオで聴いた北村小夜さんは道徳や愛国心教育と結びついたオリ・パラの問題点を。東京都オリパラ教育を監視・批判する仲間からの報告も。

が語られたのは初めてである。

昨年、再審請求中の三名が執行された。今回、二度に分けて執行された一三名中、一〇名が再審請求中でありそのうち五名

が一度目の請求だった。再審とは裁判の過ちを正す制度だ。しかし今年一月に、誤判の可能性が高いにも関わらず執行された飯塚事件の久間三千さん、死後再審が福岡高裁で認められず、六月一一日には静岡地裁で再審開始が決定した榎田巖さんの再審取消を東京高裁が決定した。

つまり死刑事件は再審せずの宣言だ。一度死刑が確定すると誤判であっても正されないので。そして一度目の再審の結果も出てないのに処刑する。同一事件同時執行の原則を破り「首謀者」たちを吊し、二〇日間で一三人も執行する。確定順を五〇人も飛び越して執行する。この国は執行の公正さを一切考慮せず、恣意的に執行できる体制を作り出したのだ。

法務省が積み重ねてきた死刑執行の慣例を全て無視した今回の執行は、死刑をさらに為政者が自由に使える政治的な道具に作り替えた。あらゆる手段でこの流れを変えていかねばならない。
(死刑廃止国際条約の批准を求めるフオーラム90／深田卓)

「天皇制では、国民を作るが市民は育たない！」

七月二八日に盛岡で「天皇制について話そく！」と題して、桜井大子さんを講師に

迎え学習会を行ないました。地元紙「岩手日報」のお知らせ欄に掲載されたこともあり、参加者はいつもより多めの二四名でした。

★天皇とは何者か。★なぜ天皇は特別な存在、タブーであるのか。それは正当であるのか。★天皇の宗教行為。★なぜなくならないのか。以上の四点を軸にした豊富で深い講師のお話の後、質問や参加者の意見も交え、三時間じっくりと天皇制と向き合いました。

後半で出された意見は★太平洋戦争に因る災害に対する責任は天皇にある。それは「天災」と呼べるのではないか。★日本人は支配されることに慣れすぎているのではないか。★安倍政権がこれだけの不祥事を重ねているにもかかわらず支持率は下がらずにむしろ上がっているという現状をどう考えればよいのだろう？
この根っこにも天皇制がある。★敗戦まで叩き込まれた天皇觀や中国人への差別感などをなかなか変えられない。人の心はなかなか変わらないということ。
★「個」のない日本の社会が必要なことは、天皇制に限らず「自己・個」を育てること。

反「昭和」×「平成」代替わりを考えるPart2

七月二九日、午後三時からピープルズプラン研究所で、「〔平成〕代替りの政治を問う」連続講座の第六回「反「昭和」Xデー闘争の『経験』を通して、「平成」の代替わりを考える」という題で話題をされた。

天野さんからは、「なぜ全共闘の世代は、天皇制の問題を大きな問題として考えてきたのか」という自身の問題意識から出発して、反天皇制運動を始めたことで戦中派の学徒世代の人々を含め様々な世代の人々と交流することができたことや、かつての反Xデーの時期に天皇や天皇制に対するパロディという表現方法が噴出するように広まつたことなどを話された。

藤克子さん（立川自衛隊監視テント村）と高橋寿臣さん（反天皇制運動連絡会OB）と中川信明さん（靖国・天皇制問題情報センター）が問題提起をするという形で行われた。

まず加藤さんが、二〇一七年一月のテント村の宣伝車に対する右翼の襲撃から、時代を遡り、七二年のテント村結成や「反軍放送局」の活動、「天皇在位五〇周年式典批判」、八三年の「昭和記念公園」

開園式典に伴う弾圧、八八年の「天皇葬儀」に反対する八王子デモや九〇年の「即位の礼—大嘗祭」に反対する集会などについて述べられた。

前後の運動経験から九〇年の「即位」諸儀式反対運動等の反Xデー闘争に至るまでの経緯や、今回の「平成」代替わり反対行動の困難性について述べられた。

私たち市民として自覚して生きていくためにも天皇制にこだわり続け、盛岡で今後も天皇制についての学習会を続けていきます。

（岩手からアジアを考える会／村松信子）

（講座運営委／田中）

天皇制は日常生活に形や形式を通して慣りを覚える。
天皇制が日常生活にまで入り込み私たちは縛っているのにそれに全く無自覚になつていて、強制ではないと言ひながらその力は強くなつていて。などなどでした。



7月27日（金）●東京都総合防災訓練反

対前段集会（ネットワーク参考）

●死刑執行に抗議する集会（集会の真相

参考）

7月6日（水）●原発被ばく労災あらか

ぶさん国賠訴訟第8回口頭弁論

7月12日（木）●女性と天皇制研究会・

学習会（集会の真相参考）

7月14日（土）●再考「1の68」・Ⅱ政

治的暴力をめぐって

7月21日（土）●なぜ元号はいろいろの

か？（集会の真相参考）

7月22日（日）●2020東京オリンピック

いらない！原宿アピール＆渋谷デモ

（集会の真相参考）

7月23日（月）●警視庁機動隊沖縄への派

遣は違法

第8回口頭弁論

7月25日（水）●8月土砂投入ストップ！

首都圈集会

7月29日（日）●「平成」代替わりの政

治を問う・連続講座第6回 反「昭和

Xデー闘争の〈経験〉を通して、「平成

の代替わりを考える Part 2（集

会の真相参考）

8月11日（土）●埋めるな！辺野古

沖縄民大会に呼応する首都圈大行動

11時30分集合・12時30分デモ出発

／東池袋中央公園（JR池袋駅ほ

か）／主催・同実行委員会（連絡先

090-3910-4140 沖縄・一坪反戦地主会関

東プロツク）

●平和の灯を！ヤスクニの闇へ 第13回

2018キャンドル行動

13時～19時デモ出発／在日本韓国

Y M C A スペース Y（JR水道橋駅ほ

か）／高橋哲哉、吉田裕、権赫泰、内

海愛子／主催・平和の灯を！ヤスク

ニの闇へ キャンドル行動実行委員会

#Me Too

14時～文京区民センター2A（地下

鉄春日駅ほか）／川田文子、角田由紀子、

梁澄子／共催・戦時性暴力問題連絡協

議会／日本軍「慰安婦」問題解決全国

行動（090-620-5677）

14時～17時デモ／つくば市立吾妻交

流センター（TXつくば駅前）／湖南

通／主催・戦時下の現在を考える講座

AM・女たちの戦争と平和資料館（地

下鉄早稲田駅ほか）／連絡先・同館

●C1ジェット飛来抗議デモ

14時30分集合・14時45分デモ出発／

諭訪の森公園南側集合（JR立川駅南

口）／主催・立川自衛隊監視テント村

（042-525-9036）

8月12日（日）●金字順さんから始まつた

●C1ジェット飛來抗議デモ

14時30分集合・14時45分デモ出発／

諭訪の森公園南側集合（JR立川駅南

口）／主催・立川自衛隊監視テント村

（042-525-9036）

●C1ジェット飛來抗議デモ

14時30分集合・14時45分デモ出発／

諭訪の森公園南側集合（JR立川駅南

口）／主催・立川自衛隊監視テント村

●学習会報告

千葉慶『アマテラスと天皇——〈政治シンボル〉の近代史』

（吉川弘文館歴史文化ライブラリー、100-1）

日本の近代化の過程でつくり出された「政治シンボル」が、明治維新政府の思惑からどのような変遷をたどり、悲惨な敗戦を迎えるにいたつたのか。本書ではその歴史的な考察が試みられる。そして、その天皇の権威づけとしての〈政治シンボル〉を必要とし、それがアマテラスとして、アマテラスが取り上げられている。

近代国家建設＝脱亜入欧・欧米型列強国化が目的であったこの国の近代化は、「伝統」がいかに明治以降のものであるか

も、よく読み取れるテキストとなつてい る。

議論は沸騰した。政治シンボルの近代 史に絞り込んだユニークな視点とその論 理展開は、私たちを面白がらせた。同時

に、アマテラスが政治シンボルとして使 われていく経緯等について本当にそう であつたのか？との疑問を付す意見も。

私も同様に感じることはあつた。

それにしても、一九三〇年代～敗戦あ たり、思わず現在と比較しながら読んで しまうのだが、「象徴天皇もアマテラス みたいに」。

今回はトメ吉さん推薦のテキストで、 ついでに参加も。また来て下さいまし。

◎次回は、村上重良『天皇制国家と宗教』

（講談社学術文庫、日本評論社）

（桜井大子）

(090-8441-1457 加藤)

9月4日 (火) ● 明治公園オリンピック追

8月15日 (水) ● 「明治150年」天皇制

と近代植民地主義を考える 8・15行動

14時開場・集会後デモ／在日本韓国Y

MCA・9F (JR水道橋駅ほか) /

主催・同実行委員会 (03-3438-0263)

8月24日 (金) ● 学習会 憲法と天皇制

18時30分／練馬区厚生文化会館 (西

武池袋線ほか練馬駅) / 清水雅彦／主

催・アキヒト退位・ナルヒト即位問題

を考える・練馬の会 (090-5208-5803 池

田)

8月25日 (土) ● 連続講座 安倍改憲と

憲法9条第1回 9条解釈の政治史と

日米安保

13時30分開場／ピープルズ・プラン研

究所 (地下鉄江戸川橋駅ほか) / 清水

雅彦、武藤一羊／主催・ピープルズ・

プラン研究所 (03-6424-5748)

8月28日 (火) ● スポーツの軍事化とオ

リンピックの政治

18時15分開場／渋谷男女平等・ダイバー

シティセンター／アイリス) (JR渋

谷駅) / 井谷聰子、北村小夜／共催・

アジア女性資料センター、反五輪の会

(03-3780-5245)

9月1日 (土) ● 関東大震災で虐殺された

朝鮮人虐殺追悼式

10時／横網町公園 (JR両国駅) /

主催・日朝協会

9月2日 (日) ● シビル連続講座 未来か

らの透視—ロシア革命百年 第3回

14時／柴中会公会堂 (JR立川駅) /

太田昌国／主催・シビル (042-524-9014)

ほか) / 小倉利丸、宮崎俊郎、天野恵

一／主催・ピープルズ・プラン研究所

(03-6424-5748)

門正克、金富子／主催・V A W W I R A

C (連絡先: 03-3818-5903)

9月4日 (火) ● 明治公園オリンピック追

い出しを許さない国賠訴訟 第2回口

頭弁論

15時30分開廷・東京地方裁判所706

号法廷 (地下鉄霞ヶ関駅)

9月8日 (土) ● オリンピックは誰のた

め? 何のため? 過去の映像が私たち

に語りかけること 第1回

12時30分開場・13時開始／武蔵大学8

号館6F (西武池袋線江古田駅ほか)

／永田浩三、谷口源太郎、天野恵一／

主催・「オリンピック災害」おことわ

り連絡会 (080-5052-0270)

9月11日 (火) ● 持つな! 「敵基地攻撃力」

全都反弾圧集会

16時・大久保地域センター (地下鉄東

新宿駅ほか) / 集会後、渋谷に移動し

てデモ／主催・同闘争実行委員会

9月12日 (水) ● 持つな! 「敵基地攻撃力」

行動

9月18日 (火) ● 大軍拡・基地強化NO!

アクション2018・防衛省申し入れ

9月27日 (木) ● 天皇代替わりと民主主

義の危機

18時開場・18時30分開始／文京区民セ

ンター3B (地下鉄春日駅ほか) / 吉

沢弘志、木元茂夫、横山哲也／主催・

大軍拡・基地強化NO!-アクション

2018 (03-3961-0212 北部労働者法

律センター)

9月29日 (土) ● 立川「防災航空祭」反対

デモ

10時30分集合・11時デモ出発／立川憩

いの場 (JR立川駅北口) / 主催・立

川自衛隊監視テント村 (042-525-9036)

9月30日 (日) ● 「慰安婦」被害はいつ聞

き取られてきたか

13時開場・13時30分開始／在日本韓国

Y M C A 9F (JR水道橋駅ほか) /

梁鉄娥、川田文子、小野沢あかね、大

カンパ・購読料 ありがとうございます。

前号で、泣きのカンパと購読料入金のお願いを同封いたしました。少しずつ口座が暖まってきています。ありがとうございます。ニュースの発行・発送は、購読料とカンパ、事務局の会費だけで何とかやりくりしています。どうか、今後ともよろしくお願ひします。



Q...
・・・・・
・・・・・
・・・・・
・・・・・